

常任委員会の「所管事務調査」中間報告

所管事務調査とは、各常任委員会が自主的にその委員会の担当している市の事務(所管事務)について行う調査です。各常任委員会が令和5年12月から調査を開始しています。

調査事項

「市民生活と市の業務に関するDXについて」

引き続き先進市等の施策を学んでいきます

総務常任委員会では、昨年10月の新潟市・見附市の行政視察のあと、2023(令和5)年第4回定例会で「市民生活と市の業務に関するDXについて」を所管事務調査とすることを決定。以後、市担当所管課よりDX事業として取り組んでいる事業や方針について学び(今年1月12日)、それを整理したうえで、4月の勉強会、6月の第2回定例会の委員会等で、さらに先進地等の視察をおこなって知見を深めることを確認しました。

これに基づき、7月には、横須賀市における「行政DXの推進について」(26日)、GovTech東京の役割とサービス概要について(31日)を視察します。

総務常任委員会

調査事項

「認知症の方及びそのご家族が、地域で安心して暮らすための支援について」

多摩市内の認知症カフェを3ヶ所訪問させていただきました

当事者の方のお話を聞くために市内の認知症カフェを委員が分担して伺いました。それぞれのカフェの運営主体・運営方法は異なりますが、参加者同士が悩みを共有したり、おしゃべりで楽しく交流するなど、共通して雰囲気明るく、参加者の方々が楽しく過ごされている様子が印象的でした。

一方、コロナの影響でカフェが大幅に減少していることや、カフェが当事者の抱える不安や悩みを解消するための場として、貴重な存在である点を考慮したうえで、当委員会として継続して調査をするため、7月23日に町田市の「認知症施策・Dカフェ」を視察する事を決定致しました。

健康福祉常任委員会

調査事項

「地域公共交通について」

運転手のなり手不足が課題

昨年には市内路線バスの一部を運行されている京王バスへヒアリングを行い、事業の収益性や運転手の確保など、地域公共交通の運行の主体を担う事業者が抱える課題を認識しました。こうした課題のほか、福祉分野の移動支援も含めた市民生活における移動手段の見直しも必要との考えから、5月にはミニバス南北線や、総合福祉センター送迎バスへの乗車など実態把握を行いました。

今後は、運転手の確保という課題を見据えて、無人自動運転技術を中心に調査・研究を進めてまいります。

生活環境常任委員会

調査事項

「子ども・若者への支援について」

切れ目ない支援と不登校対策

これまで、子ども・若者支援の先進的な取り組みを行う他自治体への視察や、子育て支援を行う市内施設・団体との意見交換を行った後、担当所管課との勉強会を行って学びを深めてきました。

今後は「子ども・若者への相談体制、特に行政との繋がりが切れやすい高校進学時や就職時への支援」、「社会的自立のできる生徒の育成という観点からの不登校対策」の2点について、さらに先進市の視察を行うなど、掘り下げて調査・研究を進め、具体的な困難を抱える子ども・若者への支援の提案に向けて、協議を行っていきたいと考えています。

子ども教育常任委員会